

長い夏休みが明けました！

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な顔と歓声が学校にもどってきました。この夏休み中に、全国各地で水の事故で大切な命が奪われるなど、悲惨な報道が多くありましたが、幸いにも本校の児童には、水の事故や交通事故などもなく、ほっと胸をなでおろしているところです。子どもたちが、夏休みの思い出や学んだことを生かし、充実した学校生活を送れるように願っています。どうかご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

夏休みを振り返ると

サマースクール（水泳指導） 夏休みに入ってからすぐの7月22日（金）から、泳力を伸ばしてあげたい児童の水泳指導を、ほとんど全員の教員が参加して行いました。3日間の予定が天候の都合で2日間となりましたが、子どもたちはとてもよくがんばり、見違えるほど泳げるようになりました。

プール開放 7月22日（金）から8月19日（金）までの、土曜日・日曜日とお盆の8月15日（月）・16日（火）を除く期間を夏休みのプール開放としました。天候や藻の発生などでやむを得ず中止した日もありましたが、子どもたちにとって楽しい夏休みの思い出ができたことと思います。監視をしてくださった保護者の皆さん、厳しい暑さの中を大変ご苦労様でした。

野外活動 7月28日（木）・29日（金）の2日間、5年生の野外活動を西区の三滝少年自然の家で行いました。好天に恵まれ、23名の5年生児童は、キャンプファイヤーや野外炊飯、オリエンテーリングなどの活動を、協力して一生懸命やり遂げました。この体験は、忘れられない思い出になるとともに、大きな自信をつけることができたのではないかと思います。

原爆慰霊碑の碑前祭参加 8月5日（金）に、平和記念公園の元安橋近くで行われた「原爆犠牲ヒロシマの碑」の碑前祭に、6年生の三浦唯香さん、大神徹真君、植木凜さんが広島市の小学生を代表して参加しました。3人は、被爆者代表や教育委員会代表、小・中・高等学校校長会代表などの参列者が見守る中、中学生や高校生の代表とともに、司会やメッセージの発表の役割をしっかりと果たすことができたと思います。

学校保健委員会 8月10日（水）、学校医や学校歯科医の先生方や保護者の皆様のご出席をいただき、教職員ほぼ全員が出席して、本年度の学校保健委員会を開催しました。定期健康診断や体力テストなどの結果や学校の取り組みを説明した後、耳鼻科の田村先生から「睡眠時無呼吸症候群」のミニ講話をいただきました。また、学校での水分補給についての質問に対して、内科の小西先生からは、「小学校での水分補給は水や麦茶などで十分。スポーツドリンクは、長時間の運動でたくさんの汗をかいたときは脱水予防などでよいが、飲み過ぎるとエネルギーのとり過ぎとなる。」との回答をいただきました。